(機関管理者) 殿

一般社団法人 全日本建設技行会 長 松 田 芳



第604回建設技術講習会(工事積算(土木・建築)における動向と工事施工における合理化、安全対策) 開催について

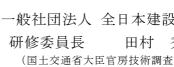
謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員 約6万3千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図り、 建設関係施策の円滑な推進及び良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公 共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人であります。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、工事積算における動向と工事施工における合理化、安全対策など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応えていく必要があり、技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第604回建設技術講習会では、工事積算では受発注者間の双務性を向上するための総価契約単価合意方式等の導入、入札不調・不落対策としての見積もり活用型積算方式の採用等の取り組みのほか、積算の効率化を進めるために施工パッケージ型積算方式の試行が実施されており、土木工事積算基準の改定も踏まえて、今後の土木工事、建築工事における積算の動向や基準に関する新たな知識と情報を学ぶとともに、工事施工及びその管理における合理化を図るための情報化施工の動向、ライフサイクルコストの縮減を目的としたCIMやBIMの導入や活用に向けた新たな取り組みについても情報を得る。また、工事書類の簡素化、情報共有システムの活用状況や建設現場における事故防止策、設計・施工・工事管理(検査を含む)等における安全確保に係る最新の情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加 されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白





平成26年度建設技術講習会の活用について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

わが国においては、地震、津波、水害・土砂災害等の自然災害による被害が近年多発しており、南海トラフ地震、首都直下地震への対応等災害対策の重要性が高まっています。また既存のインフラにおいても急速に老朽化が進んでいること、また急速なグローバル化が進展しているなかで、国民の生命と財産を守り、経済の活性化を図るための、社会資本の整備・維持管理を着実に推進することが急務となっています。さらに交通網の発達や情報通信技術の進展、エネルギー情勢の変化等により人々の暮らしも多様化しているため、国土行政を進める上で国民生活に係る幅広い分野を所掌することも重要となっており、時代の要請に応えた施策を展開していくことが求められています。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、工事積算における動向と工事施工における合理化、安全対策など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応えていく必要があり、技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

一般社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成26年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるのものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会の積極的なご活用についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

地方協会長殿

一般社団法人 全日本建設 協会 長 松 田 大



第604回建設技術講習会開催について

(工事積算(土木・建築)における動向と工事施工における合理化、安全対策)

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成26年8月27日(水)~29日(金)、金沢市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、工事積算では受発注者間の双務性を向上するための総価契約単価合意方式等の導入、入札不調・不落対策としての見積もり活用型積算方式の採用等の取り組みのほか、積算の効率化を進めるために施工パッケージ型積算方式の試行が実施されており、土木工事積算基準の改定も踏まえて、今後の土木工事、建築工事における積算の動向や基準に関する新たな知識と情報を学ぶとともに、工事施工及びその管理における合理化を図るための情報化施工の動向、ライフサイクルコストの縮減を目的としたCIMやBIMの導入や活用に向けた新たな取り組みについても情報を得る。また、工事書類の簡素化、情報共有システムの活用状況や建設現場における事故防止策、設計・施工・工事管理(検査を含む)等における安全確保に係る最新の情報を得るものとすることを目的としています。

なお、本講習会は石川県・金沢市の共催(予定)、国土交通省(予定)の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程:別紙日程表のとおり

> 正会員(30歳未満〔全国〕、地元〔開催県内に勤務〕) ····· 2,000円 非会員 ······ 17,900円

※昼食の斡旋はありません ※聴講のみの参加は可能です

※正会員(30歳未満、地元)は割引価格のため取り消しはできません

③現場研修料:8,000円 [うち昼食代1,200円]

※現場研修のみの参加はできません

④申 込 方 法:申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の(写)〕を添えて期限までにメール又は

郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

⑤申込書送付先: (一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken. com

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座:三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 **0311142**

口座名義:シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数の「604」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日:平成26年8月8日(金)必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へ ご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

① 平成26年8月15日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
② 平成26年8月22日 (金) までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。 ※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

第604回建設技術講習会日程

(工事積算(土木・建築)における動向と工事施工における合理化、安全対策) ~市場の変化に対応した積算技術と施工及び施工管理における効率化、安全管理に係わる情報~

- 工事積算では受発注者間の双務性を向上するための総価契約単価合意方式等の導入、入札不調・不落対策としての見積もり活用型積算方式の採用等の取り組みのほか、積算の効率化を進めるために施工パッケージ型積算方式の試行が実施されており、土木工事積算基準の改定も踏まえて、今後の土木工事、建築工事における積算の動向や基準に関する新たな知識と情報を学ぶとともに、工事施工及びその管理における合理化を図るための情報化施工の動向、ライフサイクルコストの縮減を目的としたCIMやBIMの導入や活用に向けた新たな取り組みについても情報を得る。また、工事書類の簡素化、情報共有システムの活用状況や建設現場における事故防止策、設計・施工・工事管理(検査を含む)等における安全確保に係る最新の情報を得るものとする一

会場 …… 石川県文教会館 (ホール) 〒920-0918 金沢市尾山町10-5 Tm.076-231-2411代

(1日目)	平成26年8月	27日(水)			(敬和	称略)
12:40	あいさつ	石川県知事 金沢市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	谷山中	本野嶋	正之章	憲義雅
13:00	土木工事積算に関する最近の話題について	国土交通省大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官	久	保	宜	之
14:10	ヒューマンエラーの原因と対策	常磐大学人間科学部 准教授	しん 申		紅	そん 仙
15 : 20	公共工事と会計検査 〜設計、積算、施工における留意点〜	元会計検査院国土交通統括検査室長	市	Ш	啓測	欠郎
16 : 30	【地域事業の紹介①】 金沢市の無電柱化について	金沢市道路建設課 無電柱化推進室長	坂	本	敦	志
17:00	【地域事業の紹介②】 金沢城公園の整備について	石川県土木部 金沢城・兼六園管理事務所長	猿	田	秀	_
	「参加者同士の交流・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:15~19:45(予定))	金沢エクセルホテル東急 5階ボールルーム Th:076-231-2411				
(2日目)	8月28日 (木)					
9:40	工事施工及びその管理における合理化の取り組み について 〜北陸地方整備局における工事施工の合理化〜	国土交通省北陸地方整備局企画部 技術調整管理官	高	島	和	夫
10 : 50	公共建築工事積算基準と最近の動向について	国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 企画専門官	中	村	継	男
13 : 00	【特別講演】 金沢城と伝統都市金沢の魅力	石川県教育委員会 金沢城調査研究所長	木	越	隆	Ξ.
14:10	土木工事標準歩掛の最近の動向と適用上の留意点 について	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 課長補佐	鹿	毛	英	樹
15 : 20	北陸地方整備局管内における工事事故の発生状況 と安全対策について	国土交通省北陸地方整備局企画部 技術調整管理官	高	島	和	夫
16 : 20 ¿	閉会のあいさつ	石川県建設技術協会長 (石川県技監)	Щ	岸		勇
(3日目)	8月	29日(金) 【現場研修】				

中央公園横(香林坊アトリオ・大和裏) (8:30) 出発

- → 金沢駅西広場整備事業(下車説明)→ 金沢城公園整備事業(菱櫓・橋爪門、玉泉院整備等)(下車説明)
- → 昼食(金沢市内) → 金沢市の無電柱化事業(主計町地区・東山地区)(下車説明)
- → 金沢東部環状道路建設事業「御所トンネル」(下車説明)
- → JR金沢駅(15:30)着後解散/小松空港(16:10)着後解散

第604回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 金沢駅西広場再整備事業

金沢駅西広場は、平成3年に金沢駅西土地区画整理事業により「交通処理機能」を有する駅前広場として開設されました。その後、駅西地区の市街化の進展など駅西広場を取り巻く状況が大きく変化したことに加えて、平成27年春に北陸新幹線金沢開業が決まったことから、広場機能の充実と利用者の快適性や利便性の向上を図ることを目的に、新しい金沢(駅西新都心)の玄関口にふさわしい機能と都市景観を備えた広場の再整備を実施し、平成26年3月に完成しました。整備の基本方針は以下の3つです。

①駅西地域の玄関口としてふさわしい広場の顔づくり

- ・駅西新都心の創造拠点「新しい金沢」の都市景観の形成
- ・駅とまちの賑わいをつなぐ地上動線の確保
- ・人々の集い・憩い・賑わいを創出する環境空間の確保
- ②適正な施設規模の確保、安全で快適な交通機能の充実
 - ・駅西地域の発展に対応した施設規模の確保と交通結節点としての機能の充実
 - 各交通施設の特性に応じたゾーニングと動線の配置
 - ・公共交通の乗り換え促進を図り、使いやすく快適な交通環境の整備
- ③人や環境にやさしい広場の整備
 - ・歩行者を優先とした広場環境の整備
 - 自然のやすらぎや潤いを感じる緑豊かな環境の整備
 - ・都市と自然が共生する環境負荷低減に配慮した施設の整備

2 金沢城公園整備事業

金沢城の貴重な歴史的文化遺産を後世に継承し、兼六園と並ぶ県都金沢のシンボル公園として、また、石川県の歴史・文化・伝統を継承する「象徴」として、本県が誇る豊かな文化土壌に一層の厚みを加えるとともに、交流人口の拡大と都心地区の魅力向上を図る都市公園として整備を進めている。

金沢大学跡地を取得後、公園としての基盤整備が平成16 年度で終了。北陸新幹線の開業を見据え、平成18年に取り まとめた整備計画に基づき、史実性や整備効果の高いもの から、順次整備に取りかかり、平成22年4月に「河北門」と 「いもり堀」が完成した。現在、27年春の開業に向け、「橋 爪門」の復元と旧体育館跡地の「玉泉院丸庭園」の暫定開園 に取り組んでいる。

[整備計画の概要]

建造物:金沢城三御門の整備

(「河北門」「橋爪門(二の門)」の復元、 「石川門」の保存修理)

堀:「いもり堀」の段階復元

石 垣:修築等の保存対策、「石垣回廊」の整備

庭 園:県体育館跡地の「玉泉院丸跡」の暫定整備





金沢市広岡





3 金沢市の無電柱化事業 (主計町地区、東山地区)

金沢市は、水の流れと緑豊かな自然環境に恵まれ、加賀 百万石の城下町として、金沢城、名勝兼六園を中心に繁栄 してきた文化都市です。市街地は、寺町台地、小立野台地、 卯辰山の三つの台地の間を犀川、浅野川の二つの河川が流 れており、起伏に富んだ地形となっており、また、非戦災 都市であることから中心部には武家屋敷群、茶屋街などの 歴史遺産が数多く残っており、城下町の面影を色濃く保っ ており、平成24年度までに4箇所が「重要伝統的建造物群 保存地区」に選定されております。こうした自然環境、歴 史遺産やまちなみを後世に継承するため、金沢市では半世 紀前から景観の保全を目的に景観政策に力を注いでおり、 そのひとつとして無電柱化に取り組んできました。

主計町地区は、浅野川に架かる浅野川大橋詰に位置し、 明治期より茶屋街としてまちなみが整えられてきました。 浅野川沿いは石張舗装等の修景整備とともに無電柱化が 行われ、現在は、川沿いから1本裏通りに入った路地で、 茶屋建築の街並みや「くらがり坂」、「あかり坂」といっ た観光名所につながる狭隘な道路で、金沢市初の軒下配線 方式による無電柱化を実施しました。従来の無電柱化は、 架空線の全てを地下の管路に配線しますが、主計町地区に おいては、全ての管路を埋設するスペースが地中に無く、 従来の方法では無電柱化を行うことが困難であったため、 従来の地中化方式と軒下配線方式との併用による無電柱 化の方法を採用しています。



主計町地区



東山ひがし地区

東山地区は、浅野川の北に位置し、伝統的な茶屋建築が残っております。この地区には、東山ひがし地 区と卯辰山麓地区の2箇所が「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されており、修景整備については、 茶屋町として当時の町建ちそのままの地割に現在も茶屋町様式町家が集積する地区の特性に応じ、建物と 調和のとれた整備に努めております。東山ひがし地区の中央に位置する通りについては、平成元年に修景 整備とともに無電柱化が行われ、現在は、卯辰山麓地区である東山の入り口部を国道の整備とあわせて地 中化方式による無電柱化と修景整備を行い、平成26年度完成に向けて整備を進めています。これらにより、 歴史的文化を感じる観光名所として訪れる観光客も年々増加しています。

4 金沢東部環状道路建設工事「御所トンネル」

金沢市は、都心部を中心とした放射状の 道路網が都市の骨格を担っており、都心部 を目的地としない通過交通が中心部に流 入してしまう都市構造であるため、慢性的 な交通渋滞が発生していました。金沢東部 環状道路の整備により、これらの通過交通 の排除とまちなかへの交通の分散導入が 図られ、都心部の渋滞緩和および郊外間の 連携をスムーズにする効果が期待されて

金沢市神谷内町~東長江町



います。金沢東部環状道路は他の道路の交差部とを道路横断ボックスや橋梁を設置することにより完全立 体交差とし、主要な道路との連絡のみICで乗り降りできるアクセスコントロールされた道路となってい ます。石川県の長期構想である「県土ダブルラダー構想 結いの道」に位置付けられており、県内の広域 的なネットワークの充実にも寄与することと期待しています。現在、神谷内町~東長江町の1.8km区間に ついて4車線化開通(平成29年度の供用)に向け、整備を進めています。

第604回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿 泊 斡 旋:宿泊希望者には金沢市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込:別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先:西鉄旅行㈱ 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328

〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄

申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日	宿泊開始後及び
4日前まで	3~1日前(前日)	(宿泊開始前)	無連絡不泊
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。 取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成26年8月26日(火),27日(水),28日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
金沢ニューグランドホテルアネックス 金沢市南町4-1 №076-233-7000	シングル	30名	7,560円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。 ※宿舎が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧下さい。

案内図



詳細図



第604回建設技術講習会に参加の皆様へ! 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士 の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。 これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々 の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただ き、質疑応答や交流をはかる場としています。 ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時 : 平成26年8月27日(水) 18:15~19:45(予定)

(第604回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所 : 金沢エクセルホテル東急 5階「ボールルーム」

会費: 2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※開催時間は変更になる場合がありますので、開催当日にご案内いたします。
- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に〇印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

(交流会に参加予定の講師)

元会計検査院国土交通統括検査室長

市川啓次郎 講師

• 国土交通省北陸地方整備局企画部技術調整管理官

高島 和夫 講師

※講師の都合により変更になる場合があります。

- 1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
- 2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など

※都合により内容が変更になる場合があります。



<問合せ>



(一社) 全日本建設技術協会 事業課 講習会担当 TEL 03-3585-4546 MAIL kensvu@zenken.com

拔	j h	<u>会</u>	名	
_	-		-	

(特別・賛助会員名、会社名)

第604回建設技術講習会申込書

(工事積算(±木·建築)における動向と工事施工における合理化、安全対策)

〈個人情報の取扱いについて〉

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。 参加者 ・ 聴講者別 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・									音泊申i	入
(フリガナ) 氏 名	年	勤務先	正会	正会員 30 歳	一非	現場研	交流	予約	的目に(して下)を
(女性の場合は番号に〇をつけて下さい	齢	(所属課名まで記入のこと)	員	未満	会般員	修	会	8月 26日	27日	28日
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
	:) とは、全	名×12,900円= 名× 2,000円= 全国の30歳未満の「正会員」 具内に勤務する「正会員」(賛助会員除く)	円 円		の 不 に	 場研修 昼食は 要の申 出はでき せん※	: :	ホテル 時にá いくだ	き額おった。	ウイン 支払
一般(非会員)		名×17,900円=	円					"〇禁ように	"、"O 記入し)希望 こは、 喫"の ,てくだ
現場研修料		名× 8,000円=	円					さい。		
		計 ↓ 全建に振込	<u>円</u>							

↓全建に振込

[お申込み時の注意について]

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

[お申込みについて]

必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の(写)〕を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

[変更・取り消し・追加方法について]

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。 本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。 取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

[聴講時の昼食について]

昼食の斡旋はありません。

[現場研修時の昼食について]

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。